



『Fiery Options のヘルプ』 (client)

© 2024 Fiery, LLC. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2024年9月10日

目次

クライアントコンピューターの Fiery オプションライセンスの管理	5
ライセンスを管理する	5
プロキシサーバーの設定	6
ライセンスアクティベーションページの使用	6
ライセンスアクティベーションページへのアクセス	6
ライセンス通知	7
Fiery オプションのアクティベーション	7
Fiery オプションを自動でアクティベートする	8
一時ライセンスを自動アクティベートする	8
Fiery オプションを手動でアクティベートする	9
Fiery オプションのアクティベート解除	9
Fiery オプションを自動でアクティベート解除する	10
Fiery オプションを手動でアクティベート解除する	10
アクティベートの解除状況とライセンスアクティベーションコードの表示	11
Fiery オプションの再アクティベート	11
Fiery オプションを自動で再アクティベートする	11
Fiery オプションを手動で再アクティベートする	11
アクティベート済み Fiery オプションの復元	12
Fiery オプションを自動で復元する	12
Fiery オプションを手動で復元する	12
ライセンスアクティベーションコードのバックアップ	13
Fiery オプションのトラブルシューティング	13
アクティベートするとエラーメッセージが表示される	13
アクティベート済み Fiery オプションが使用できない	14
アクティベート解除されたライセンスが再利用できない	14
無効なシステムクロック設定	14
エラーメッセージ	14

クライアントコンピューターの Fiery オプションライセンスの管理

クライアントコンピューター (Fiery Compose、Fiery Impose、Fiery JobMaster、Fiery JobFlow、Adobe Acrobat キットなど) で Fiery クライアントベースオプションのライセンスを管理できます。

Fiery Automation Package、Fiery ColorRight Package、Fiery Graphic Arts Pro Package、Fiery Hot Folders/仮想プリンターなどの Fiery サーバーベースのオプションのライセンス管理については、[サーバー上の Fiery オプションのライセンス管理](#)を参照してください。

クライアントコンピューターにインストールされている Fiery オプションを使用するには、まず一意のライセンスアクティベーションコード (LAC) を取得し、ライセンスをアクティベートする必要があります。

ライセンスの取得

Fiery オプションのライセンスは、Fiery 販売店、プリンター製造元または [Fiery ショップ](#) から入手できます。ライセンスを取得すると、次のタスクを実行できます。

- [Fiery オプションのアクティベーション](#) (7 ページ)
- [Fiery オプションのアクティベート解除](#) (10 ページ)
- [Fiery オプションの再アクティベート](#) (11 ページ)
- [Fiery オプションの復元](#) (12 ページ)
- [ライセンスアクティベーションコードのバックアップ](#) (13 ページ)

これらのタスクは、ライセンスアクティベーションページで実行できます。詳細は[ライセンスアクティベーション](#) (6 ページ) を参照してください。

ライセンスを管理する

ライセンスの管理には、Fiery オプションのアクティベーション、アクティベーション解除、再アクティベーション、復元などのタスクが含まれます。Fiery ライセンスサーバーは、これらのライセンスアクティベーションコード (LAC) 関連タスクを管理します。

ライセンスの管理は、お使いのコンピューターがインターネットに接続されているかどうかによって手順が異なります。

- コンピューターがインターネットに接続されている場合は、情報はコンピューターと Fiery ライセンスサーバーの間で自動的に転送されます。
- コンピューターがインターネットに接続されていない場合は、コンピューターと Fiery ライセンスサーバーの間で情報を手動で転送する必要があります。

組織がプロキシサーバー経由でインターネットに接続している場合は、プロキシサーバーの設定を指定する必要があります。

プロキシサーバーの設定

お使いのコンピューターでライセンスサーバーに接続しようとした時にインターネットにアクセスできない場合は、所属組織がプロキシサーバーを使用してインターネットに接続している可能性があります。この場合はプロキシサーバーを設定してからライセンス処理を行います。

- 1 コンピューターがインターネットにアクセスできないというメッセージが表示されたら、**ネットワーク設定の構成**をクリックします。
- 2 必要な値を入力し、**適用**をクリックします。

ライセンスアクティベーションページの使用

ライセンスアクティベーションページから Fiery オプションのライセンスを管理できます。ライセンスアクティベーションページには、アクティベートされている Fiery オプションとアクティベートできるオプションが表示されます。ライセンスアクティベーションページを使用して、次の操作を行うことができます。

- **Fiery オプションのアクティベート**
アクティベート済みの Fiery オプションに有効期限がある場合は、ライセンスアクティベーションページに有効期限日が表示されます。
- **Fiery オプションのアクティベート解除**
ライセンスを別のコンピューターに移すには、最初に現在のコンピューターで使用しているオプションをアクティベート解除する必要があります。アクティベートの解除によって、そのオプションのライセンスアクティベーションコード (LAC) が再利用できるようになります。
- **破損しているライセンスを修復して Fiery オプションを再アクティベートする**
Fiery オプションのライセンスが破損していると、そのオプションはアクティベートされているように見えても機能はしません。コンピューターを起動すると、コンピューターはライセンスサーバーにアクセスして、破損したライセンスを再アクティベートしようとします。たとえばネットワークの中断などで再アクティベーションが失敗した場合は、オプションの再アクティベーションを試みることができます。LAC を入力する必要はありません。
- **すでにアクティベート済みのオプションを再使用できるように、アクティベート済みの Fiery オプションを復元する**
たとえばコンピューターにシステムソフトウェアを再インストールしたなどの理由で Fiery オプションのライセンスレコードが利用できない場合は、アクティベート済みのオプションがアクティベート状態として表示されません。コンピューターを起動すると、コンピューターはライセンスサーバーにアクセスして、ライセンスレコードを復元しようとします。たとえばネットワークの中断などで復元が失敗した場合は、オプションの復元を試みることができます。

ライセンスアクティベーションページへのアクセス

Fiery オプションを有効にすると、ライセンスアクティベーションページにアクセスできます。

- 1 Command WorkStation のジョブセンターで、スプール済みジョブまたは処理済みジョブを右クリックします。
- 2 アクティベートする Fiery オプションを選択します。

3 Fiery オプション管理 ウィンドウで **ライセンスのアクティベート** をクリックして、ライセンスアクティベーションページを開きます。

Fiery オプションをアクティベートすると、次のいずれかの方法でライセンスアクティベーションページにアクセスできます。

- Fiery オプションを開き、**ヘルプ > ライセンスを管理** をクリックします。
- Fiery オプションパッケージのライセンス通知で、**ライセンスのアクティベート** リンクをクリックします。詳細は、[ライセンス通知](#) (7 ページ) を参照してください。

ライセンスアクティベーションページはデフォルトの Web ブラウザーで開きます。ライセンスアクティベーションページのライセンスの管理で、ライセンスの **履歴** を表示して、**詳細設定** にアクセスします。

ライセンス通知

インストールされている Fiery オプションのライセンスが有効期限に近づいたり、期限切れになったりした場合に通知が表示されます。有効期限が近いライセンスの通知は、ライセンスの有効期限の 90 日前、60 日前、30 日前、15 日前、10 日前に表示されます。有効期限までの 10 日間と有効期限が切れた後は、通知が毎日表示されます。通知は次の場所に表示されます。

- Command WorkStation ジョブセンターの右上角
- Command WorkStation のホームタブに一覧表示されている Fiery サーバー上

メモ：ライセンス通知は、Fiery Command WorkStation 6.7 以降でのみ使用できます。

通知には、次のリンクが表示されます。

- **ライセンスのアクティベート** : ライセンスアクティベーションページを開き、ライセンスアクティベーションコード (LAC) をアクティベートします。ライセンスのアクティベートは、ライセンス有効期限までの 90 日間表示されます。
- **詳細情報** : Fiery オプションのライセンス管理ヘルプを開きます。
- 詳細アイコン (縦の 3 つのドット) は、選択した通知を次の有効期間まで非表示にします。しかし、有効期限までの最後の 10 日間と有効期限が切れた後は、通知が毎日表示されます。

メモ：Fiery オプションのライセンス有効期限ライセンスアクティベーションページのに表示されます。Fiery オプションにもライセンスの有効期限が切れるまでの日数が表示されます。

Fiery オプションのアクティベーション

Fiery オプションをアクティベートするときは、以下の情報を記録します。

- オプション名
- ライセンスアクティベーションコード (LAC)

LAC をバックアップするには、[ライセンスアクティベーションコードのバックアップ](#) (13 ページ) を参照してください。

オプションをアクティベートしているクライアントコンピューターがインターネットに接続されているかどうかに応じて、オプションを自動または手動でアクティベートできます。詳細は [ライセンスの管理](#) (5 ページ) を参照してください。

Fiery オプションを自動でアクティベートする

コンピューターがインターネットに接続されている場合は、Fiery オプションを自動的にアクティベートできます。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。(ライセンスアクティベーションページへのアクセス (6 ページ) を参照)。
- 2 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**アクティベート**、**続ける**をクリックします。
- 3 **ライセンスアクティベーションコード**フィールドにライセンスアクティベーションコードを入力し、**続行**をクリックします。
- 4 **アクティベート**をクリックします。
- 5 アクティベーション後に再起動する必要がある場合は、**再起動**をクリックしてすぐに再起動します。再起動する前に他のオプションもアクティベートする場合は、**終了**をクリックします。アクティベーション後に再起動する必要がない場合は、**終了**をクリックします。

一時ライセンスを自動アクティベートする

Fiery オプションを初めてインストールする際、Fiery ライセンスサーバーが利用できない場合は、一時ライセンスを使用して Fiery オプションのアクティベートを続行できます。ライセンスアクティベーションページから一時ライセンスをアクティベートできます。

- 1 Command WorkStation の**ジョブセンター**で、スプール済みジョブまたは処理済みジョブを右クリックし、Fiery オプションを選択してアクティベートします。
- 2 **Fiery オプション管理**ウィンドウで**ライセンスのアクティベート**をクリックして、ライセンスアクティベーションページを開きます。
ライセンスアクティベーションページでライセンスアクティベーションコードをアクティベートできない場合は、ライセンスサーバーは使用できないが一時ライセンスはアクティベートできるというメッセージが表示されます。
- 3 **一時ライセンスをアクティベート**ボタンをクリックします。
- 4 **再起動**をクリックします。

ライセンスアクティベーションページで、一時ライセンスの有効期限を表示できます。

追加情報

- 一時ライセンスオプションは、Fiery Command WorkStation 6.7 以降でのみ使用できます。
- 一時ライセンスをアクティベートするには、オプションをアクティベートするクライアントコンピューターがインターネットに接続されている必要があります。

- 以下の場合にのみ一時ライセンスをアクティベートできます。
 - Fiery ライセンスサーバーを使用できない場合
 - Fiery オプションを初めてインストールしている間
- クライアントコンピューターのオペレーティングシステム (Windows または Mac) を再インストールすると、一時ライセンスをアクティベートできます。一時ライセンスは、新しい (新規) OS がインストールされているクライアントコンピューターでもアクティベートできます。どちらの場合も、Fiery ライセンスサーバーが利用できない場合にのみ一時ライセンスをアクティベートできます。
- 一時ライセンスは 35 日間のみ有効です。この期間中にライセンスアクティベーションコード (LAC) をアクティベートしてください。

Fiery オプションを手動でアクティベートする

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、コンピューターと Fiery ライセンス Web サイトの間のデータ転送を手動で行う必要があります。要求ファイルを生成し、Fiery ライセンス Web サイトに送信してライセンスファイルを取得し、このライセンスファイルを使用してオプションをアクティベートします。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。(ライセンスアクティベーションページへのアクセス (6 ページ) を参照)。
- 2 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**アクティベート**、**続ける**をクリックします。
- 3 **ライセンスアクティベーションコード**フィールドにライセンスアクティベーションコードを入力し、**続行**をクリックします。
- 4 **続行**をクリックして、手動処理を進めます。
- 5 **要求ファイルの作成**をクリックしてファイルを保存します。
- 6 インターネットに接続されたコンピューターに要求ファイルをコピーします。
- 7 ブラウザーを開き、<https://licensing.fiery.com/>にアクセスします。
- 8 **参照**をクリックし、要求ファイルを選択してから**アップロード**をクリックします。
- 9 **続行**をクリックします。
- 10 **ライセンスファイルダウンロード**をクリックしてファイルを保存します。
- 11 最初にライセンスアクティベーションコードを入力したコンピューターにライセンスファイルをコピーします。
- 12 **ライセンス生成**ウィンドウに戻り、**はい**をクリックします。
- 13 **参照**をクリックし、ライセンスファイルを選択して開き、**アクティベート**をクリックします。
- 14 アクティベーション後に再起動する必要がある場合は、**再起動**をクリックしてすぐに再起動します。再起動する前に他のオプションもアクティベートする場合は、**終了**をクリックします。アクティベーション後に再起動する必要がない場合は、**終了**をクリックします。

Fiery オプションのアクティベート解除

コンピューターがインターネットに接続されているかどうかに応じて、オプションを自動または手動でアクティベート解除できます。詳細は [ライセンスの管理](#) (5 ページ) を参照してください。

Fiery オプションを自動でアクティベート解除する

コンピューターがインターネットに接続されている場合は、Fiery オプションを自動的にアクティベート解除できます。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。([ライセンスアクティベーションページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)。
- 2 アクティベート済みオプションで、アクティベート解除をしたいオプションの横にある **アクティベート解除** をクリックします。

メモ： オプションの横に **アクティベート解除** ボタンがない場合、そのオプションはドングルでアクティベートされています。

- 3 アクティベート解除の確認画面で **アクティベート解除** をクリックします。
- 4 **完了** をクリックします。

Fiery オプションがアクティベート解除されます。

Fiery オプションを手動でアクティベート解除する

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、コンピューターと Fiery ライセンス Web サイトの間のデータ転送を手動で行う必要があります。要求ファイルを生成し、Fiery ライセンス Web サイトに送信して、ライセンスアクティベーションコード (LAC) を別のコンピューターでアクティベートできるようにします。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。([ライセンスアクティベーションページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)。
- 2 アクティベート済みオプションで、アクティベート解除をしたいオプションの横にある **アクティベート解除** をクリックします。

メモ： オプションの横に **アクティベート解除** ボタンがない場合、そのオプションはドングルでアクティベートされています。

- 3 アクティベーション解除の確認画面で **アクティベート解除** をクリックします。
- 4 **続行** をクリックして、手動処理を進めます。
- 5 **要求ファイルの作成** をクリックしてファイルを保存します。

Fiery オプションがアクティベート解除されます。

- 6 インターネットに接続されたコンピューターに要求ファイルをコピーします。
- 7 ブラウザーを開き、licensing.fiery.com にアクセスします。
- 8 **参照** をクリックし、要求ファイルを選択してから **アップロード** をクリックします。

LAC が再利用できるようになります。

アクティベートの解除状況とライセンスアクティベーションコードの表示

履歴にはアクティベート解除されたオプションや期限切れのオプションと、対応するライセンスアクティベーションコード (LAC) が表示されます。アクティベート解除後も特定のオプションをアクティベート解除するボタンが表示される場合は、アクティベート解除プロセスが完了していない可能性があります。この場合、以下の手順を手順をご確認ください。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。([ライセンスアクティベーションページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)。
- 2 右上角の履歴アイコンをクリックします。
- 3 アクティベート解除を完了するには、オプションの横にある **アクティベート解除** をクリックし、手動でのアクティベート解除を続行します。

Fiery オプションの再アクティベート

アクティベート済みライセンスが破損していて、コンピューターからライセンスサーバーに接続して再アクティベートできない場合は、ライセンスアクティベーションページを使用してオプションを再アクティベートできます。

コンピューターがインターネットに接続されているかどうかに応じて、オプションを自動または手動で再アクティベートできます。詳細は [ライセンスの管理](#) (5 ページ) を参照してください。

Fiery オプションを自動で再アクティベートする

コンピューターがインターネットに接続されている場合は、Fiery オプションを自動的に再アクティベートできます。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。([ライセンスアクティベーションページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)。
- 2 アクティベート済みオプションで、再アクティベートしたいオプションの横にある **再アクティベート** をクリックします。

Fiery オプションを手動で再アクティベートする

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、コンピューターと Fiery ライセンス Web サイトの間のデータ転送を手動で行う必要があります。要求ファイルを生成し、Fiery ライセンス Web サイトに送信してライセンスファイルを取得し、このライセンスファイルを使用してオプションを再アクティベートします。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。([ライセンスアクティベーションページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)。
- 2 アクティベート済みオプションで、再アクティベートしたいオプションの横にある **再アクティベート** をクリックします。

- 3 **続行**をクリックして、手動処理を進めます。
- 4 **要求ファイルの作成**をクリックしてファイルを保存します。
- 5 インターネットに接続されたコンピューターに要求ファイルをコピーします。
- 6 ブラウザーを開き、licensing.fiery.com にアクセスします。
- 7 **参照**をクリックし、要求ファイルを選択してから**アップロード**をクリックします。
ライセンスファイルが生成されます。
- 8 **ライセンスファイルダウンロード**をクリックしてファイルを保存します。
- 9 オプションを再アクティベートするコンピューターにライセンスファイルをコピーします。
- 10 ライセンス生成ウィンドウに戻り、**はい**をクリックします。
- 11 **参照**をクリックし、ライセンスファイルを選択して開き、**アクティベート**をクリックします。


アクティベート済み Fiery オプションの復元

すでにアクティベート済みのオプションが使用できず、コンピューターからライセンスサーバーにアクセスしても復元できない場合は、ライセンスアクティベーションページを使用してオプションを復元できます。

コンピューターがインターネットに接続されているかどうかに応じて、オプションを自動または手動で復元できます。詳細は [ライセンスの管理](#) (5 ページ) を参照してください。

Fiery オプションを自動で復元する

コンピューターがインターネットに接続されている場合は、以前アクティベートされた Fiery オプションを自動的に復元できます。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。([ライセンスアクティベーションページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)。
- 2 右上角の **詳細設定** アイコン () をクリックし、**復元**をクリックします。
Fiery オプションが復元されます。
- 3 **完了**をクリックします。

Fiery オプションを手動で復元する

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、コンピューターと Fiery ライセンス Web サイトの間のデータ転送を手動で行う必要があります。要求ファイルを生成し、Fiery ライセンス Web サイトに送信してライセンスファイルを取得し、このライセンスファイルを使用してオプションを復元します。

- 1 ライセンスアクティベーションページを開きます。([ライセンスアクティベーションページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)。

- 2 右上角の **詳細設定** アイコン (⚙️) をクリックし、**復元** をクリックします。
- 3 **続行** をクリックして、手動処理を進めます。
- 4 **要求ファイルの作成** をクリックしてファイルを保存します。
- 5 インターネットに接続されたコンピューターに要求ファイルをコピーします。
- 6 ブラウザーを開き、licensing.fiery.com にアクセスします。
- 7 **ファイルの選択** をクリックし、要求ファイルを選択して、**要求ファイルのアップロード** をクリックします。
ライセンスファイルが生成されます。
- 8 **ライセンスファイルダウンロード** をクリックしてファイルを保存します。
- 9 オプションを復元するコンピューターにライセンスファイルをコピーします。
- 10 **ライセンス生成** ウィンドウに戻り、**はい** をクリックします。
- 11 **参照** をクリックし、ライセンスファイルを選択して開き、**復元** をクリックします。

ライセンスアクティベーションコードのバックアップ

ライセンスアクティベーションコードを Fiery IQ クラウドにバックアップできます。

メモ: ライセンスアクティベーションコードのバックアップ機能は、Fiery Command WorkStation 7.0 以降でのみ使用できます。

- 1 クラウドアイコンをクリックして、**Fiery IQ クラウドサービスマネージャー** ウィンドウを開きます。
- 2 **バックアップライセンスアクティベーションコード** で、切り替え ボタンをクリックしてバックアップを開始します。
ライセンスアクティベーションコードが Fiery IQ クラウドにバックアップされます。
- 3 **コードを表示** をクリックして、ライセンスアクティベーションコードを表示します。

Fiery オプションのトラブルシューティング

Fiery オプションの管理中に発生した問題をトラブルシューティングできます。

アクティベートするとエラーメッセージが表示される

エラーの詳細情報と対処策を示すエラーメッセージが表示されます。

- 1 エラーについての詳細は、[エラーメッセージ](#) (15 ページ) を参照してください。テクニカルサポートに連絡するように指示するメッセージが表示された場合は、まず診断ログファイルを生成する必要があります。
- 2 診断ログファイルを生成するには、ライセンスアクティベーションページを開きます ([ライセンスアクティベーションページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照)。

- 3 右上の**詳細設定**アイコン (⚙️) をクリックし、**診断ログ**をクリックして診断ログファイルを生成します。
- 4 テクニカルサポートに連絡する場合は、次の情報を送付する必要があります。
 - アクティベートしようとしているオプションの名前
 - ライセンスアクティベーションコード (LAC)
 - 診断ログ

アクティベート済み Fiery オプションが使用できない

Fiery オプションのライセンスレコードが使用できない場合があります。これは、コンピューターにシステムソフトウェアを再インストールした場合や、システムを以前の状態に戻した場合に生じることがあります。

Fiery ライセンスサーバーからライセンスを復元するには、ライセンスアクティベーションページを開きます。([ライセンスアクティベーションページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照してください)。右上の **詳細設定** アイコン ⚙️ をクリックし、**復元**をクリックします。

アクティベート解除されたライセンスが再利用できない

ライセンスを手動で非アクティブ化し、licensing.fiery.com にアップロードしたときにアクティベーション解除要求ファイルが拒否された場合、そのライセンスは再利用できません。

- 1 Fiery ライセンスサーバーからライセンスを復元するには、ライセンスアクティベーションページを開きます。([ライセンスアクティベーションページへのアクセス](#) (6 ページ) を参照してください)。
- 2 右上の **詳細設定** アイコン (⚙️) をクリックし、**復元**をクリックします。
- 3 アクティベート解除を再度試します。
- 4 ライセンスを復元できない場合は、Fiery 販売店またはプリントデバイス製造業者にサポートを依頼してください。

無効なシステムクロック設定

システムクロックの日付と時刻の設定が正しくない場合、コンピューターを Fiery ライセンスサーバーに接続できないことがあります。この場合は、コンピューターの時計をリセットしてください。

エラーメッセージ

エラーメッセージにはエラーの詳細情報と対処策が表示されます。エラーメッセージは、ライセンスアクティベーションソフトウェアと **Fiery ライセンス Web** サイトに表示されます。

より詳細な情報やサポートが必要な場合には、登録ユーザーは [Fiery Communities](#) でディスカッションを始められます。

メッセージ ID	エラーメッセージ	アクション
ライセンスアクティベーションソフトウェアから		
OFA0020	LAC の形式が不正です。LAC を再入力してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。	ライセンスアクティベーションコード (LAC) の形式が不正です。LAC を再入力してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。
OFA0010	選択したライセンスファイルは無効です。別のファイルを選択して再試行してください。	手動アクティベーション中に、Fiery ライセンス Web サイトからライセンスファイルが取得されました。アップロードするライセンスファイルが正しく選択されていることを確認してください。 まだエラーが発生する場合は、Fiery オプションを復元して再度アクティベートしてください。
OFA0090	内部エラー。Fiery テクニカルサポートに電話してください。	ライセンスファイルに問題があります。アクティベーション処理を最初からやり直してください。まだエラーが発生する場合は、オプションを復元して再度アクティベートしてください。まだエラーが発生する場合は、テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを伝えてください。
OFA0060	エラー <エラー番号> プロキシ設定が不正か、あるいはプロキシサーバーがダウンしています。	インターネット接続が見つかりません。プロキシ設定が正しいことを確認して再試行します。それでも解決しない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。
OFA0030	インターネット接続を確立できません。	インターネット接続が見つかりません。プロキシ設定が正しいことを確認して再試行します。それでも解決しない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。
OFA0080	エラー <エラー番号> ライセンスセッションは期限切れです。ライセンスセッションを再開してください。	ライセンスアクティベーションソフトウェアは、これよりも後に別のブラウザウィンドウですでに使用されています。使用中のウィンドウを閉じてから、新規に開いて作業を続行します。
OFA00105	エラー <エラー番号> ライセンスアクティベーションソフトウェアモジュールが破損しているため、Fiery システムソフトウェアを再インストールする必要があります。	ライセンスアクティベーションソフトウェアモジュールが破損しているため、Fiery システムソフトウェアを再インストールする必要があります。テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを提示してください。

メッセージ ID	エラーメッセージ	アクション
OFA0070	エラー<エラー番号> ライセンスアクティベーションソフトウェアモジュールは破損しています。 Command WorkStation を再インストールして再試行してください。	Command WorkStation を再インストールして再試行してください。 Windows では、 コントロールパネル > プログラムの追加と削除 を選択し、Fiery ユーザーソフトウェアをメンテナンスモードで起動します。修復オプションを選択し、Command WorkStation を選択します。 Mac OS では、Fiery Software Uninstaller を使用して Command WorkStation をアンインストールし、再度 Command WorkStation をインストールします。
OFA0050	要求されたオプションをアクティベート解除できません。詳細情報を確認するにはサポートに連絡してください。	Fiery オプションを復元し、アクティベート解除を再試行してください。それでも解決しない場合は、ライセンスアクティベーションページからライセンスを手動でアクティベート解除します。詳細は、 ライセンスアクティベーションページへのアクセス (6 ページ) を参照してください。 ライセンスアクティベーションページで、右上角にある 履歴 アイコンをクリックします。アクティベート解除するライセンスを特定します。アクション列の アクティベート解除 アイコンをクリックして、手動アクティベート解除ファイルをダウンロードします。ライセンスサーバーが使用可能になったら、 licensing.fiery.com に移動し、手動アクティベート解除ファイルをアップロードして、LAC のアクティベート解除を完了します。
OFA0040	要求されたオプションを再アクティベートできません。詳細情報を確認するにはサポートに連絡してください。	Fiery オプションを復元し、アクティベートを再試行してください。それでも解決しない場合は、テクニカルサポートに連絡してください。
OFA00115	復元可能なオプションはありません。	このコンピューターではアクティベート済みのライセンスが見つかりません。すでにアクティベートされたライセンスがある場合は、テクニカルサポートに連絡してください。
Fiery ライセンスサーバーから :		
EBIS0004	LAC が認識されません。正しい LAC を入力していることを確認してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。	LAC が認識されません。正しい LAC を入力していることを確認してください。LAC カードがある場合、それを参照してください。
EBIS0007	このオプションはすでにアクティベートされています。	LAC がアクティベートするオプションに適切であることを確認してください。

メッセージ ID	エラーメッセージ	アクション
EBIS0016	このライセンスはすでに別のコンピューター用にアクティベートされています。	このライセンスはすでに別のコンピューター用にアクティベートされています。 別のコンピューターで使用しているライセンスをアクティベート解除すれば、現在使用しているコンピューターでアクティベートできます。
EBIS0018	最初にアップロードする要求ファイルを選択する必要があります。	送信された要求ファイルが正しくないか、要求ファイルが破損しています。別の要求ファイルを送信してください。再度エラーが発生した場合は、要求ファイルを再生成してください。
EBIS0025	ライセンスをアクティベートできません : エラーコード <番号>	Fiery ライセンスサーバーでエラーが発生しました。テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコード、LAC、使用している Fiery サーバーのシリアル番号を伝えてください。
EBIS0002	Fiery ライセンスサービスは使用できません。後で再試行してください。	Fiery ライセンスサービスは使用できません。後で再試行してください。
EBIS0006	ライセンスアクティベーションコード (LAC) をアクティベートできません。 LAC でアクティベートした機能が使用している製品に適切であることを確認してください。	LAC でアクティベートした機能が使用している Fiery サーバーモデルに適切であることを確認してください。
EBIS0011	使用しているシステムはこのオプションに含まれている一部の機能をサポートしていません。続行しますか?	LAC によって複数の機能がアクティベートされましたが、リストに表示された 1 つまたはそれ以上の機能はサポートされていません。サポートされている機能のみに有効な LAC を新規に取得してください。 このまま続行すると、サポートされていない機能が使用できなくなり、LAC も使用できなくなります。
EBIS0008	このオプションの中には、すでにアクティベートされている機能があります。続行しますか?	LAC によって複数の機能がアクティベートされましたが、リストに表示された 1 つまたはそれ以上の機能はすでにアクティベート済みです。まだアクティベートされていない機能がある LAC を新規に取得してください。 このまま続行すると、同一の機能に 2 回課金されます。
EBIS0026	ライセンスをアクティベート解除できません : エラーコード <番号>	Fiery オプションを復元し、アクティベート解除を再試行してください。まだエラーが発生する場合は、テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを伝えてください。

メッセージ ID	エラーメッセージ	アクション
EBIS0024	ライセンスを再アクティベートできません : エラーコード <番号>	Fiery オプションを復元し、アクティベートを再試行してください。まだエラーが発生する場合は、テクニカルサポートに連絡して、メッセージに表示されたエラーコードを伝えてください。
EBIS0027	このコンピューターで過去にアクティベートされたライセンスはないため、ライセンスを復元できません。	このコンピューターで過去にアクティベートされたライセンスはないため、ライセンスを復元できません。